



# 一球にかける おもしろい 戦いが ここにある球

ゴーセンカップ・スウィングビーチ牧之原  
国際レディースオープンテニストーナメント2010

予選 9月18日(土)・19日(日)  
本選 9月20日(祝)～25日(土)  
会場 静波リゾート・スウィングビーチ  
牧之原市静波2228番地43  
TEL 0548-221717  
<http://shizutetsu.jp/swing/index.html>

ゴーセンカップ・スウィングビーチ牧之原レディースオープンテニストーナメント2010は9月18日から25日まで、静波リゾートホテル・スウィングビーチで開催された。同トーナメントは、こととして18回目。平成9年から国際テニス連盟公認の国際大会として開催され、日本女子テニス界では有数の規模を誇るものとして全国に知られている。過去には、ウィンブルドンでベ

スト16入りしたこともある浅越しのぶ選手が出場し優勝するなど、国内外で活躍する選手が参加していることも魅力の一つだ。ことはシングルスに51人、ダブルスに17組がエントリー。18日と19日の両日は予選、20日からは本選が行われ、頂点を目指した熱き戦いが繰り広げられた。例年がない暑さの中、選手は一球、一打に思いと力を込めコートを駆ける。ただラリーの応酬だけではない。

選手の間にはテクニクの駆け引きがあった。トップスピンのスライス、ロブ、スマッシュなどさまざま。その一つ一つにも、体のひねり具合、体重の乗せ方などで効果が違う。その動きは観ている者を魅了する。このトーナメントに出場した選手には、ぜひ世界で活躍してもらいたい。また牧之原に帰ってきてもらいたい。今度はあなたが、その「一球入魂」の姿を肌で感じられるように。



1\_ひと振りひと振りが勝敗の行方を占う 2\_この瞬間に、力を、気持ちを込め、打ち返すコースを計算する 3\_テニスは、1試合1時間以上動ける脚力が必要 4\_1センチ、1ミリの判断を下すラインズアンパイア(線審)。その判断は一瞬 5\_ボールから目をそらす時はない 6\_気持ちを乗せて、満身の力で腕を振りぬくサーブ

ゴーセンカップ・スウィングビーチ牧之原国際女子オープンテニス2010結果

	シングルス	ダブルス
優勝	飯島久美子	通佳翔・逕佳境(中国)
準優勝	秋田史帆	高紹媛(台湾)・王蕾(中国)

